

小学校の新学習指導要領における「新聞」関連記述（抜粋）

この資料は、新学習指導要領（平成29年3月告示）から、「新聞」「報道」「論説」「ニュース」などの記述を抜き出したものです。「新聞」以外の語句については、新聞との関連性を勘案して抽出しています。

第1章 総則

第3 教育課程の実施と学習評価

1 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

各教科等の指導に当たっては、次の事項に配慮するものとする。

- (3) 第2の2の(1)に示す情報活用能力の育成を図るため、各学校において、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を活用するために必要な環境を整え、これらを適切に活用した学習活動の充実を図ること。また、各種の統計資料や**新聞**、視聴覚教材や教育機器などの教材・教具の適切な活用を図ること。

第4 児童の発達の支援

1 児童の発達を支える指導の充実

教育課程の編成及び実施に当たっては、次の事項に配慮するものとする。

- (4) 児童が、基礎的・基本的な知識及び技能の習得も含め、学習内容を確実に身に付けることができるよう、児童や学校の実態に応じ、個別学習やグループ別学習、繰り返し学習、学習内容の習熟の程度に応じた学習、児童の興味・関心等に応じた課題学習、補充的な学習や発展的な学習などの学習活動を取り入れることや、教師間の協力による指導体制を確保することなど、指導方法や指導体制の工夫改善により、個に応じた指導の充実を図ること。その際、**第3の1の(3)に示す情報手段や教材・教具**の活用を図ること。

第2章 各教科

第1節 国語

第2 各学年の目標及び内容

〔第5学年及び第6学年〕

2 内容

〔思考力、判断力、表現力等〕

C 読むこと

- (2) (1)に示す事項については、例えば、次のような言語活動を通して指導するものとする。

- ア 説明や解説などの文章を比較するなどして読み、分かったことや考えたことを、話し合ったり文章にまとめたりする活動。
- イ 詩や物語、伝記などを読み、内容を説明したり、自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動。
- ウ 学校図書館などを利用し、複数の本や**新聞**などを活用して、調べたり考えたりしたことを報告する活動。

第2節 社会

第2 各学年の目標及び内容

〔第5学年〕

2 内容

- (4) 我が国の産業と情報との関わりについて、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
 - ア 次のような知識及び技能を身に付けること。
 - (ア) 放送、**新聞**などの産業は、国民生活に大きな影響を及ぼしていることを理解すること。
 - (イ) 大量の情報や情報通信技術の活用は、様々な産業を発展させ、国民生活を向上させていることを理解すること。
 - (ウ) 聞き取り調査をしたり映像や**新聞**などの各種資料で調べたりして、まとめること。
 - イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。
 - (ア) 情報を集め発信するまでの工夫や努力などに着目して、放送、**新聞**などの産業の様子を捉え、それらの産業が国民生活に果たす役割を考え、表現すること。
 - (イ) 情報の種類、情報の活用の仕方などに着目して、産業における情報活用の現状を捉え、情報を生かして発展する産業が国民生活に果たす役割を考え、表現すること。

3 内容の取扱い

- (4) 内容の(4)については、次のとおり取り扱うものとする。
 - ア アの(ア)の「放送、**新聞**などの産業」については、それらの中から選択して取り上げる。その際、情報を有効に活用することについて、情報の送り手と受け手の立場から多角的に考え、受け手として正しく判断することや送り手として責任をもつことが大切であることに気付くようにすること。
- (略)

以上